平成23年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年10月25日

上 場 会 社 名	株式会社エックスネット	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	４７６２	ＵＲＬ	http://www.xnet.co.jp
代　　表　　者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名) 鈴木邦生	
問合せ先責任者	(役職名) 専務取締役	(氏名) 小林親一	ＴＥＬ　（０３）５３６７－２２０１
四半期報告書提出予定日	平成22年11月12日	配当支払開始予定日	平成22年11月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無 ：有
四半期決算説明会開催の有無　　：有（証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成23年３月期第２四半期の業績（平成22年４月１日～平成22年９月30日）

(1) 経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売　上　高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年３月期第２四半期	1,642	3.3	403	24.4	414	23.9	237	5.9
22年３月期第２四半期	1,589	△1.5	324	△18.3	334	△16.9	224	2.7

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
23年３月期第２四半期	5,757　46	－
22年３月期第２四半期	5,436　59	－

(2) 財政状態

	総　資　産	純　資　産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円　銭
23年３月期第２四半期	5,705	5,134	90.0	124,292　70
22年３月期	5,632	5,012	89.0	121,344　80

(参考) 自己資本　23年３月期第２四半期 5,134百万円　22年３月期 5,012百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期　末	合　計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
22年３月期	－	2,800　00	－	2,800　00	5,600　00
23年３月期	－	2,800　00			
23年３月期(予想)			－	2,800　00	5,600　00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

３．平成23年３月期の業績予想（平成22年４月１日～平成23年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売　上　高		営 業 利 益		経 常 利 益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通　期	3,320	4.1	820	12.2	840	12.0	483	5.0	11,692　65

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

４．その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 ： 有

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 ： 有

② ①以外の変更 ： 有

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年３月期２Ｑ	41,308株	22年３月期	41,308株
② 期末自己株式数	23年３月期２Ｑ	0株	22年３月期	0株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年３月期２Ｑ	41,308株	22年３月期２Ｑ	41,308株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.2「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報…… 2

(2) 財政状態に関する定性的情報…… 2

(3) 業績予想に関する定性的情報…… 2

２．その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要…… 3

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要…… 3

(3) 追加情報…… 3

３．財務諸表等

(1) 四半期貸借対照表…… 4

(2) 四半期損益計算書…… 6

(3) 四半期キャッシュフロー計算書…… 7

(4) 継続企業の前提に関する注記…… 8

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記…… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

① 売上高

平成23年３月期第２四半期（平成22年４月１日から平成22年９月30日まで）は、中核商品である「XNETサービス」の売上高が1,623百万円（前年同期比4.1%増）となり、機器販売等を含めた売上高は1,642百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

景気の先行不透明感が増す中にあって、当社の「XNETサービス」は少しずつではありますが新規のお客様が増加しており、既存のお客様の解約も少なく安定的に推移しております。その結果、売上高は前年同期比増収となりました。

機器販売等の売上高は18百万円（前年同期比38.8%減）となりました。

売上高の内訳は以下の通りです。

品　目	平成22年３月期 第２四半期		平成23年３月期 第２四半期		
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比
	百万円	%	百万円	%	%
ＸＮＥＴサービス	1,559	98.1	1,623	98.9	4.1
機器販売等	30	1.9	18	1.1	△38.8
合　計	1,589	100.0	1,642	100.0	3.3

② 営業利益、経常利益、四半期純利益

当第２四半期においては売上高の増加に加え、昨年度と比較して売上原価が減少した結果、営業利益403百万円（前年同期比24.4%増）、経常利益414百万円（前年同期比23.9%増）と大きく増益となりました。売上原価の減少については、昨年度限りとして発生した追加費用（賞与支給対象期間の見直しによる費用）がなくなったことが主な要因です。

四半期純利益についても、特別損失として資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額および、関係会社清算損を計上し、合計で２百万円の特別損失を計上しておりますが、237百万円（前年同期比5.9%増）と堅調に推移しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第２四半期末の総資産は、流動資産において現金及び預金が増加することで前期末比72百万円増の5,705百万円となりました。負債につきましては、未払法人税等の流動負債の減少により前期末比49百万円減の571百万円となりました。純資産は繰越利益剰余金の増加により前期末比121百万円増の5,134百万円となり、自己資本比率は90.0%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第２四半期の経営成績は概ね予想どおりの水準となり、今後も予想どおりの水準を達成すると見ております。この結果、平成23年３月期の通期業績予想については、平成22年４月27日発表の決算短信記載の業績予想数値と変更ありません。

２．その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

・簡便な会計処理
（退職給付引当金の計上基準）
当事業年度末における退職給付債務（従業員の自己都合による期末要支給額）の見積額に基づく年間引当金繰入予定額を期間按分して算定しております。
（固定資産の減価償却費の算定方法）
固定資産の定率法に基づく減価償却費の算定方法は、当第２四半期会計期間を含む事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

・会計処理基準に関する事項の変更
第１四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年3月31日）を適用しております。
これにより、営業利益、経常利益はそれぞれ96千円減少しており、税引前四半期純利益は650千円減少しております。
また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は1,512千円であります。

・表示方法の変更
（四半期損益計算書関係）
前第２四半期累計期間において、営業外収益の「受取利息」に含めて表示しておりました「有価証券利息」は、より適正に表示するため、当第２四半期累計期間から区分掲記することとしました。
なお、前第２四半期累計期間の営業外収益の「受取利息」に含まれる「有価証券利息」は2,490千円であります。

前第２四半期累計期間において、販売費及び一般管理費の「その他」に含めて表示しておりました「貸倒引当金繰入額」は、重要性が増したため、当第２四半期累計期間から区分掲記することとしました。
なお、前第２四半期累計期間の販売費及び一般管理費の「その他」に含まれる「貸倒引当金繰入額」は651千円であります。

(3) 追加情報

・従来、有価証券利息の会計処理につきましては現金主義に基づき計上しておりましたが、金額的重要性が増したため、当第２四半期会計期間より、原則的な処理方法である発生主義に基づき計上する方法に変更いたしました。この結果、従来の方法によった場合と比べて、経常利益及び税引前四半期純利益が2,027千円増加しております。

３．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	当第２四半期会計期間末 （平成22年９月30日）	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成22年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,055,020	4,011,655
売掛金	168,595	177,768
商品及び製品	－	200
前払費用	13,784	15,570
繰延税金資産	45,060	47,930
その他	4,581	3,553
貸倒引当金	△4,962	△4,158
流動資産合計	4,282,078	4,252,520
固定資産		
有形固定資産		
建物	20,929	19,500
減価償却累計額	△8,317	△6,668
建物（純額）	12,611	12,831
工具、器具及び備品	126,586	126,251
減価償却累計額	△101,895	△95,198
工具、器具及び備品（純額）	24,691	31,052
有形固定資産合計	37,303	43,883
無形固定資産		
ソフトウエア	446,503	461,591
ソフトウエア仮勘定	17,796	20,824
電話加入権	993	993
無形固定資産合計	465,292	483,409
投資その他の資産		
投資有価証券	406,379	207,981
関係会社株式	－	8,301
敷金及び保証金	150,532	160,243
長期預金	300,000	400,000
繰延税金資産	63,765	76,314
投資その他の資産合計	920,676	852,839
固定資産合計	1,423,273	1,380,132
資産合計	5,705,351	5,632,653

（単位：千円）

	当第２四半期会計期間末 （平成22年９月30日）	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成22年３月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,395	987
未払金	99,230	131,739
未払費用	30,325	28,505
未払法人税等	164,732	220,652
未払消費税等	22,157	25,170
前受金	1,134	4,940
預り金	11,889	11,453
賞与引当金	71,789	65,343
役員賞与引当金	11,800	－
流動負債合計	419,453	488,793
固定負債		
退職給付引当金	150,093	131,348
資産除去債務	1,521	－
固定負債合計	151,615	131,348
負債合計	571,068	620,142
純資産の部		
株主資本		
資本金	783,200	783,200
資本剰余金		
資本準備金	1,461,260	1,461,260
資本剰余金合計	1,461,260	1,461,260
利益剰余金		
利益準備金	17,397	17,397
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	2,872,402	2,750,235
利益剰余金合計	2,889,799	2,767,633
株主資本合計	5,134,259	5,012,093
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	23	417
評価・換算差額等合計	23	417
純資産合計	5,134,282	5,012,510
負債純資産合計	5,705,351	5,632,653

（２）四半期損益計算書
（第２四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）
売上高		
役務収益	1,559,657	1,623,776
商品売上高	30,210	18,481
売上高合計	1,589,868	1,642,257
売上原価		
役務原価	1,050,301	1,029,396
商品売上原価		
商品期首たな卸高	515	200
当期商品仕入高	25,909	15,482
合計	26,425	15,683
商品期末たな卸高	－	－
商品売上原価	26,425	15,683
売上原価合計	1,076,726	1,045,079
売上総利益	513,142	597,178
販売費及び一般管理費		
業務委託費	15,834	16,762
給料及び手当	99,164	96,246
賞与引当金繰入額	2,596	2,669
役員賞与引当金繰入額	9,700	11,800
退職給付費用	502	788
法定福利費	6,353	8,085
賃借料	6,676	5,867
支払手数料	28,577	32,768
貸倒引当金繰入額	－	1,489
その他	19,288	17,023
販売費及び一般管理費合計	188,693	193,500
営業利益	324,448	403,677
営業外収益		
受取利息	8,909	4,186
有価証券利息	－	4,385
投資有価証券売却益	800	1,316
雑収入	246	666
営業外収益合計	9,956	10,554
経常利益	334,404	414,232
特別利益		
関係会社株式売却益	53,610	－
特別利益合計	53,610	－
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	553
関係会社清算損	－	1,459
特別損失合計	－	2,013
税引前四半期純利益	388,014	412,219
法人税、住民税及び事業税	191,000	158,700
法人税等調整額	△27,560	15,690
法人税等合計	163,440	174,390
四半期純利益	224,574	237,829

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
営業収入	1,585,554	1,646,939
原材料又は商品の仕入れによる支出	△33,667	△10,075
未払消費税等の増減額（△は減少）	△13,455	△3,013
人件費の支出	△701,828	△634,875
その他の営業支出	△408,570	△468,702
小計	428,032	530,272
利息及び配当金の受取額	10,098	7,601
法人税等の支払額	△206,602	△210,813
営業活動によるキャッシュ・フロー	231,527	327,060
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,962	△5,091
無形固定資産の取得による支出	△92,840	△81,894
投資有価証券の取得による支出	－	△203,960
投資有価証券の売却による収入	3,588	6,081
関係会社株式の売却による収入	128,610	－
関係会社の整理による収入	－	6,841
敷金及び保証金の回収による収入	－	9,711
定期預金の預入による支出	△2,305,197	△1,708,098
定期預金の払戻による収入	1,300,000	1,806,764
投資活動によるキャッシュ・フロー	△972,802	△169,645
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△115,479	△115,384
財務活動によるキャッシュ・フロー	△115,479	△115,384
現金及び現金同等物に係る換算差額	－	－
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△856,754	42,030
現金及び現金同等物の期首残高	2,953,665	2,204,891
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,096,911	2,246,921

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。